



満開になった桜づつみで「水戸黄門」に扮して募金活動を行う三谷会長と保存会メンバーの皆さん



利根町桜づつみ保存会会長の三谷 博さん

シリーズまち・ひと・しごと #65 利根町桜づつみ保存会

「利根町の観光スポットはどこですか？」と聞かれて、まず最初に思い浮べるのが「利根川桜づつみ」という方も多くいると思います。近年は、春になると、利根川の堤防上に現れる、見事な桜のトンネルを見るために町内外から多くの花見客が訪れるようになり、今では、利根町を代表する観光スポットとなった「利根川桜づつみ」。この桜づつみを、「日本中の人に見てもらいたい」、そして「利根町の素晴らしさをもっと多くの人に知ってほしい」と願い、日々、桜の保存活動を行なっているのが「利根町桜づつみ保存会」の皆さんです。桜の開花を直前に控えた今月の「シリーズまち・ひと・しごと」は、利根町桜づつみ保存会会長の三谷 博さんにお話を伺いました。

「まず、「利根川桜づつみ」の歴史について教えてください」

利根川桜づつみは、「利根川の堤防上に町民の憩いの場となるような、町の新しい名所をつくる」という町民のアイデアから「桜づつみ構想」が生まれて、町民が中心となって企画立案をし、約3年半をかけて関係機関と協議・研究を重ねました。そして、町や国土交通省の協力を得て、平成17年3月、ついにこの構想が実現して「利根川桜づつみ」が誕生しました。

この桜づつみに植えられている桜は、里親（オーナー）制度を導入していて、182本すべてにオーナーがいるんです。当初の計画では、90本を植樹する予定でしたが、予想を超える応募があり、最終的には182本のソメイヨシノを植樹することになりました。実際現地に行くと、1本1本に里親さんの名前とメッセージが書かれたオーナープレートが取り付けてあります。

TONE

広報とね

2025年3月号



今月の表紙

表紙の写真は、毎春見事な桜のトンネルになる「利根川桜づつみ」と、日々その保全活動を行う「利根町桜づつみ保存会」の方々です。今月のシリーズまち・ひと・しごとは、利根町桜づつみ保存会会長の三谷博さんにお話を伺いました。



～利根町百景～

この写真は、羽根野台区民センター裏の見晴台で撮影した写真です。利根町桜づつみ保存会の三谷会長から、「羽根野台に絶景の見晴台がある」とご紹介いただいたので、写真を撮影しに行きました。羽根野台区民センター裏にある、区の方々が整備されている竹林を抜けていくと、利根川土手から東文間地区まで、180度見渡せる見晴台が現れます。これから春がやってくると、花々が芽吹き、利根川桜づつみには約850mの桜のトンネルが現れます。ぜひ、この見晴台から、四季折々に姿を変える利根町の眺めをお楽しみください。

羽根野台の見晴台

- 住所 利根町羽根野 800-19 付近
- 駐車場 なし

情報をお寄せください

広報とね「利根町百景」は、読者の皆さまより寄せられた情報をご紹介するコーナーです。利根町で見つけた美しい景色、珍百景、新百景など、利根町の魅力となる身近な情報を写真付きでお寄せください。

【応募方法】

総務課「利根町百景」係まで写真をメールで送付してください。



「広報とね」では、高齢者や弱視の方を含む、すべての皆さまが読みやすい紙面とするため、視認性の高い文字「ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)」を使用しています。

もくじ -contents-

広報とね 2025年3月号

- 2 利根町百景／もくじ
- 3 シリーズまち・ひと・しごと # 65 利根町桜づつみ保存会
- 6 まちの話題 PHOTO NEWS
- 8 暮らしの情報欄
- 13 ぼうさい掲示板
- 14 お知らせ -TONE Information-
- 18 日本ウェルネススポーツ大学通信 地域おこし協力隊通信 フリフリグッパ体操／とねワイワイくらぶ
- 20 男女共同参画ってなあに？ Part131
- 21 こんにちは！★生活環境課です 認知症地域支援推進員のつづやき No.79
- 22 保健福祉センターだより／健康レシピ
- 24 こんにちは！！とね子育て支援センターです わが家のアイドル写真館
- 25 こども家庭センター
- 27 図書館へ行こう
- 28 とねまちプレイバック